

空調設備を入れ替える工事をしています

文化の森は、オープンから25年となり、施設が老朽化したことから、すべての空調設備を入れ替えることとなりました。

工事期間中も開館しますが、工事計画の進捗に応じて、使用できない施設(部屋)があるなど、ご迷惑をおかけすることとなります。

企画展は、企画展示室の利用可能な時期に開催する予定です。

工事期間 11月3日(月・祝)～2027年6月30日(水)

工事計画 2025年度 学習棟(事務室・研修室・エントランスなどがある区域)

2026年度 展示棟(常設展示室・企画展示室などがある区域)

2027年度 設備検査・機器調整

※工事計画は、工事の進捗状況に応じて変更することがあります。

報告 美濃のキリシタン

(早稲田会場)

2025年11月21日から12月21日には、早稲田会場として早稲田大学歴史館・企画展示室にて開催いたしました。



早稲田大学歴史館での展示風景

SHOP NEWS ミュージアムグッズと刊行物紹介

(商品価格は税込です)

「エコバッグ(カニサイ・ネコギギ)」リニューアルしました!



カニサイ

36×37cm (マチ有り) 各700円

ネコギギ

2025年度早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業共催展「美濃のキリシタン―秘められた祈りの証し―」(美濃加茂会場)の展示図録です。



「図録「美濃のキリシタン―秘められた祈りの証し―」」
2025年7月発行 A4判 22P 106g 600円

昨年度のさまざまな調査、研究等をまとめたものです。



「紀要第24集 2025」
A4判 116P 500円



minokamo_bunkanomori_official

展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう!文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄って、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめるにこの展示室や現地を訪れてみてはいかがでしょうか。

文化の森HP <https://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることからを事典形式で解説。

文化の森HP
<https://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→データベース→美濃加茂事典



■ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00)

休館日 月曜日
(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)

年末年始

【1・2・3月の休館日】

1月1日～3日

1月5日、13日、19日、26日

2月2日、9日、16日、24日

3月2日、9日、16日、23日、30日

■交通

●鉄道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで
東海道本線・高山本線経由、
特急「ひだ」で約40分
美濃太田駅北口から徒歩約17分

●自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分

●あい愛バス JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車
(乗車時間約10分)

※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください。
<https://aiiai-bus.com/>



行き		帰り	
美濃太田駅北口発	文化の森着	文化の森発	美濃太田駅北口着
9:14	9:25	10:07	10:18
10:52	11:03	11:45	11:56
13:29	13:40	14:21	14:32
15:11	15:22	16:03	16:14

運賃 / 一般100円 中学生以下無料

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM
<https://www.forest.minokamo.gifu.jp/>



〒505-0004
岐阜県美濃加茂市
蜂屋町上峰屋3299-1
TEL: 0574-28-1110
FAX: 0574-28-1104

MUSEUM NEWS

みのかも文化の森
vol.120

2026年1月5日発行

森が大切にしているもの

疎開後、美濃加茂市伊深町に住み続けた佐野一彦(1903-1997)は昭和30年代から40年代半ばまでの里山の人々や光景を民俗学の視点で撮影しました。その数はなんと7,000枚に及びます。つましくていねいに生きていたライフスタイルは、持続可能というSDGsの原点かもしれません。そんな貴重な記録写真をみのかも文化の森では保存整理し、広く伝える取り組みをしています。



「大豆を干す(一)」
(昭和38(1963)年10月23日、佐野一彦撮影)

Bunkanomori Special Exhibition!

企画展

明治之花 石版画百景

— 半原版画館コレクションから —

会期: 2026年1月10日(土) ~ 3月22日(日)

会場: 企画展示室・美術工芸展示室

観覧料: 無料

「優櫻」印刷・出版・発行 星野茂三郎 石版筆彩(明治23年)



当館は2023年度、明治の砂目石版画を中心に3500点を超える近現代版画の寄贈を受けました。これは瑞浪市に私立美術館「半原版画館」を設立した地質学者の糸魚川淳二氏(1929～2021年)の蒐集品です。

近代化を目指す明治期に新しい印刷技術として発展した石版画は写真に近い陰影表現と再現性を特色とし、明治20年代に最盛期を迎えます。文明開化を反映する都市の風物、名所や風俗、貴顕の肖像、時事問題など多様な題材に富む刷り物は、手頃な値段で庶民が買える絵画でした。石版画は当時の市井の人々の関心の在りか、美意識、社会通念や規範などを知るための歴史資料にも位置付けられます。

そのモチーフの組み合わせや描き方は、現代の私達の眼から見るとどこか奇妙で荒唐無稽です。絵のようで写真のような、リアルなようで浮世離れた空気感を併せ持つ不思議な石版画の世界。美人と小児百人を描いた絵、名所の風景画百点の他、約300点を展覧します。

関連企画	日時	会場	定員	参加料	説明文	申し込み
ミュージアムフォーラム 「明治のタイムカプセル―糸魚川コレクションから見る明治の文化と社会―」	2026年 3月1日(日) 14:00～15:30	緑のホール	—	無料	半原版画館館長の糸魚川淳二氏は生涯を通じ膨大な数の明治期の石版画を蒐集しましたが、このコレクションは、ほぼ半世紀続いた明治の人々の生活や感性をそのまま保存しています。多くのメディアで用いられた石版画は当時の人々に何を伝えていたのか、糸魚川コレクションの森に分け入り探索します。 講師: 増野恵子氏 (早稲田大学・跡見学園女子大学非常勤講師)	申込不要 当日受付
ミュージアムトーク	2026年 1月10日(土)・ 2月8日(日) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30	企画展示室・ 美術工芸展示室	—	無料	担当学芸員が展示室をご案内いたします。	申込不要 当日受付
体験! 「キッチンリトグラフ」	2026年 1月25日(日)・ 2月21日(土) 10:00～12:00 13:00～15:30	工芸室	5人まで 入れ替え 制	300円	アルミホイルを版にして、チョコレートやコーラなど台所にある材料でできる簡易なリトグラフ。版画の仕組みを理解しつつ、独特の絵の風合いを楽しみましょう。	申込不要 当日受付

イベント情報



●名称(イベント名)	●日時・会期	●内容	●会場	●参加料	●定員など
第257回 森の朗読会	1月17日(土) 14:00～15:00	作品 「空中ブランコ」 奥田英朗/作	緑のホール	無料	113名
第258回 森の朗読会	2月21日(土) 14:00～15:00	作品 『5分後に癒されるラスト』より 「うちの父娘」 イム*/作 作品 『無印結婚物語』より 「親は金蔓」 群ようこ/作	緑のホール	無料	113名
第259回 森の朗読会	3月21日(土) 14:00～15:00	作品 『うつくしが丘の不幸の家』より 「第一章 おわりの家」 町田そのこ/作	緑のホール	無料	113名

四季を食べる講座



●名称(イベント名)	●日時・会期	●内容	●会場	●参加料	●定員など	●持ち物	●申し込み
「がんどうち」 知ってる?	2月28日(土) 10:30～13:30	このあたりにも昔から“ハロウィン”に似た、ひなまつりの行事があったんです。	生活体験館	500円	15名	エプロン 三角巾	要 事前申し込み 1月12日(月・祝)～ 1月27日(火)

アートな1日講座



●名称(イベント名)	●日時・会期	●内容	●会場	●参加料	●定員など	●持ち物	●申し込み
石こうプリント	3月15日(日) 13:00～16:00	透明な樹脂版を彫って、インクを詰めて石膏を流し込み、図柄を写し取ります。葉書サイズのタイルのような作品に仕上がります。	工芸室	1,000円	15名	エプロン タオル	要 事前申し込み 2月3日(火)～ 2月15日(日)

ていねいな暮らし講座



●名称(イベント名)	●日時・会期	●内容	●会場	●参加料	●定員など	●持ち物	●申し込み
春を染める	3月12日(木)	春の草木で絹布を染めます。	生活体験館	1,500円	12名	エプロン ビニール袋 ゴム手袋 雑巾	要 事前申し込み 1月12日(月・祝)～ 1月30日(金)

まゆの家

年中行事

自由観覧

ひなかざり 2月8日(日)～
3月31日(火) 無料 ひな人形、武者人形、動物など、土びなを飾ります。

会場 生活体験館



ひな人形
(昭和38(1963)年4月13日、佐野一彦撮影)

ミュージアムレポート

早稲田大学との共催展「美濃のキリシタン」

2025年7月12日から8月24日にかけて、美濃加茂市民ミュージアム企画展示室において「美濃のキリシタン—秘められた祈りの証し—」展を開催しました。江戸時代、美濃地域に少なからず存在したキリシタン(キリスト教信者)をめぐる動きやその様相について可児加茂を中心とした資料をもとに紹介したもので、地域に息づく多様な信仰のかたちを紐解こうと試みたものでした。美濃や尾張の地域は、江戸時代の寛文年間(1661～1673年)に「濃尾崩れ」という大規模なキリシタン弾圧があった場所であり、その歴史に改めて光を当て、キリシタンの存在や思いについて深く感じ、考えていただく機会になったのではないかと思います。

またこの展示会は2007年から美濃加茂市と文化交流協定を結んでいる早稲田大学との文化交流事業として開催したものです。幕末から明治期にかけてのキリシタン問題に関する重要文書を多数所蔵する早稲田大学図書館の資料もお借りしながら、地域的な動きから全国的なキリシタンの展開についてもたどることができました。



美濃加茂市民ミュージアムでの展示風景

(美濃加茂市民ミュージアム T.I.)



記録集「みのかも地域文化資源のある暮らし—美濃加茂市文化財保存活用地域計画」が始まる—販売のお知らせ

2025年(令和7年)4月19日から5月25日まで開催した展示会『みのかも地域文化資源のある暮らし—美濃加茂市文化財保存活用地域計画』が始まる—の記録集をミュージアムショップ店頭にて販売しています。

本記録集には本展示のもととなった「美濃加茂市文化財保存活用計画」や、実際に展示した資料、解説文の一部を掲載。展示の内容をお手元でじっくりお楽しみいただけます。

価格：1,000円(税込) サイズ：A4判 ページ数：48頁



事前申し込みについて

電話、FAXによる受付は行いません。右記のいずれかの方法でお申し込みください。

■文化の森ホームページ講座専用申込フォーム

こちらの2次元コードからもお申し込みできます。→



■はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)

■ご来館

※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にてお知らせいたします。

講座にお申し込みいただいた個人情報、以下の項目のみに使用します。

1. お申し込みに関する問合せ
2. 講座開催に関する連絡
3. 抽選結果の通知

※イベントや講座について、今後の予定や定員が変更になる場合がありますので、文化の森ホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。